

鹿屋市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生 総合戦略（概要）



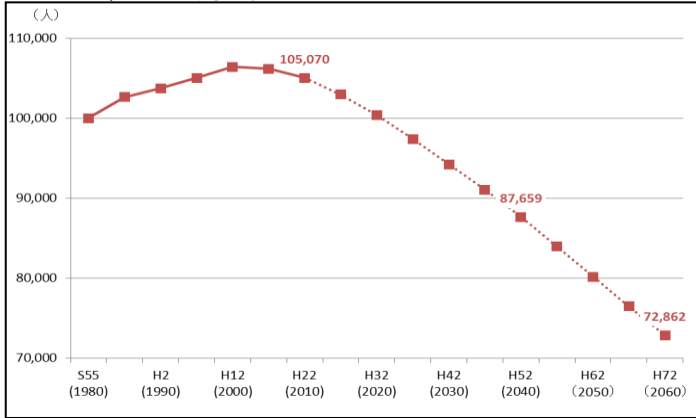
平成27年10月
鹿 屋 市

鹿屋市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

1. 鹿屋市の将来人口予測

鹿屋市の人口の推移と将来予測

- 本市の人口は、2000年（H12）から減少傾向
- このまま推移すると、2040年に8.7万人、2060年に7.2万人に！！



(出典)国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所等

2. 基本姿勢

- 大隅地域の拠点都市としての存在価値をさらに高める
- 若者に魅力的な住環境や雇用、教育環境を創造する
- 鹿屋の地域力を結集して地方創生に取り組む

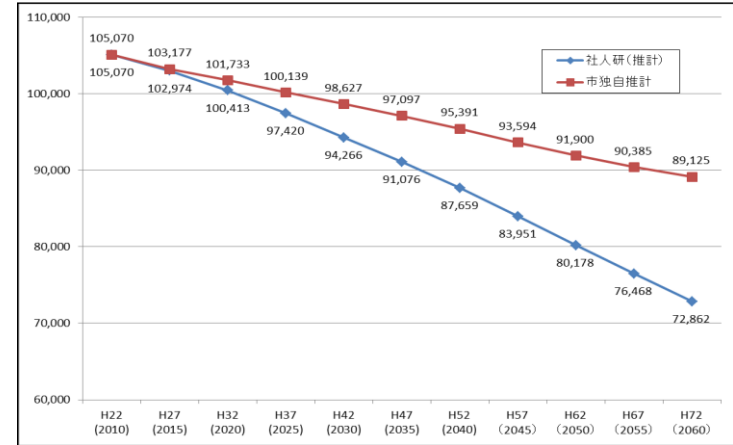
3. 人口減少に対応する3つの視点

- 2030（平成42）年に合計特殊出生率を2.1となるように段階的に上げる
- 2020（平成32）年までに転入・転出を均衡させる
- 2060年に9万人程度の人口を維持する

4. 人口ビジョン

【将来人口目標】

2060年に9万人程度の人口を維持



※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

5. 総合戦略の3つのポイント

- 人口減少に歯止めをかけ、一定程度の人口を維持する（国の目標（17%の減少）以内に留める）
- 人口を増やす・維持するために自然増を基本とする
- 社会増には「雇用の場」と「住みよい住環境」が必要となる

推進体制

- 官民連携体制／鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者委員会
- 庁内体制／鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会、専門部会
- 市民参画／本気で語ろう会、鹿屋市1,000人の応援団等

6. 4つの基本目標

- 基本目標1 やってみたいしごとができるまちへ**
 - 第一次産業の強化
 - 企業誘致、起業支援
- 基本目標2 いつでも訪れやすいまちへ**
 - 定住の促進
 - 交流人口の拡大（健康・スポーツ、観光振興）
- 基本目標3 子育てしやすいまちへ**
 - 結婚・出産・子育て ・魅力ある教育の提供
- 基本目標4 未来につながる住みよいまちへ**
 - 地域・世代が未来につながるまちづくり
 - きれいで快適なまちづくり
 - コンパクトなまちづくり
 - 地域と地域を結ぶまちづくり
 - 高齢者にやさしいまちづくり

計画期間

2015年度～2019年度（H27年度～H31年度）

7. 主なKPI

	主なKPI	基準値(H26)	目標値(H31)
■基本目標1 やってみたいしごとができるまちへ	・高校新規卒業者の市内就職数 ・小規模企業立地件数	97人 —	150人 10社
■基本目標2 いつでも訪れやすいまちへ	・入込客数 ・スポーツ合宿受入者数	約147万人 16,865人	約150万人 20,000人
■基本目標3 子育てしやすいまちへ	・合計特殊出生率 ・全国学力学習状況調査(全国平均比較)	1.93 -5.8～ -3.8	1.98 +1
■基本目標4 未来につながる住みよいまちへ	・空き店舗活用数 ・冠水箇所 ・鹿屋市1,000人の応援団	2 58 —	10 35 1,000人

鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策体系一覧表

	基本目標	基本的方向	施策	主な所管課	主なKPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
基本目標1	やってみたいしごとができるまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ●「かのや農業・農村戦略ビジョン」に基づき、農業都市かのやの再生に向けた取組を加速させ、「地域雇用と所得の増大」と「農村社会の活性化」を図る。 ●「かのや農業商社モデル事業」の推進や「大隅加工技術研究センター」との連携による「地域6次産業化推進事業」の実施により付加価値の高い農業を展開する。 	○第一次産業の強化	農林水産課 産業振興課	大隅加工技術研究センターを活用した6次産業化商品開発件数	—	20件
		<ul style="list-style-type: none"> ●若者が就きたい企業の誘致や起業(家)を支援していく。 	○企業誘致・起業支援	産業振興課	G-GAP等取得に取り組み生産者数	—	5戸
基本目標2	いつでも訪れやすいまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ●大隅の観光資源のブラッシュアップや全体をマネジメントする体制を構築することで、「自然」「戦争遺跡」「食」を生かして、交流人口の拡大を図る。 ●スポーツを生かした特色あるまちづくりや健康づくりを推進し、健康寿命の延伸や交流人口の拡大、幅広い世代の移住・定住につなげる。 	○交流人口の拡大 (健康・スポーツ、観光振興)	商工観光課 市民スポーツ課	新規就農者数	18人	90人
		<ul style="list-style-type: none"> ●定住を促進するため、移住希望者に対して情報提供(空き家・就労等)するなど、各段階に応じたきめ細かな支援策を講じる。 	○定住促進	地域活力推進課	高校新規卒業者の市内就職者数	97人	150人
基本目標3	子育てしやすいまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ●広域連携による産科医の確保対策に取組み、安心して産める環境をつくる。 ●子育て世代支援センターの設置など、産前産後ケアの充実を図る。 ●中学生までの医療費無料化など、子育て世代の家計負担の軽減を行う。 ●女性、男性ともに仕事を続けながら、家事・育児に積極的に参加できる環境づくりを促進する。 	○結婚、出産、子育て	健康増進課 子育て支援課	小規模企業立地件数	—	10社
		<ul style="list-style-type: none"> ●質の高い教育・保育、遊べる場などの提供により、次代を担う子ども達の健やかな成長を支援する。 	○魅力ある教育の提供	学校教育課	入込客数	約147万人	約150万人
基本目標4	未来につながる住みよいまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ●「図書館」「空き店舗の活用」等を軸に、子育て世代から高齢者まで、多世代が交流できる「場(サロン)」をつくることで「まちの賑わい」を創出する。 	○地域・世代が未来につながるまちづくり	商工観光課 地域活力推進課	空き家バンク利用移住世帯数	—	20世帯
		<ul style="list-style-type: none"> ●災害に強いまちづくりに取り組むとともに悪臭対策の強化や雨水排水対策の推進、空き家の適正管理などによる安全で安心な住環境を推進する。 	○きれいで快適なまちづくり	安全安心課	地域コミュニティ協議会数	1	6
		<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の再編整備や生活環境機能の集約、生活交通の維持など地域毎の拠点整備を推進する。 	○コンパクトなまちづくり	総務課 政策推進課	不妊治療受診者数(延べ人数)	86人	350人
		<ul style="list-style-type: none"> ●広域行政を推進し、行政サービスの効率化を推進する。 ●市内外に多くの応援団(ファン)づくりを推進する。 	○地域と地域を結ぶまちづくり	政策推進課	合計特殊出生率	1.93	1.98
		<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアの充実・強化を図るとともに、高齢者による健康づくり等の取組を支援し、高齢者が元気でいきいきと暮らせる地域づくりを推進する。 	○高齢者にやさしいまちづくり	高齢福祉課	出生数	1,133人	1,235人
					全国学力学習状況調査(全国平均比較)	-5.8~ -3.8	+1
					全国体力・運動能力調査(全国平均比較)	-1.3~ -1	+1
					空き店舗の活用数	2	10
					多世代交流スペースの設置数	—	4
					雨水排水対策(冠水箇所)	58	35
					コンパクトシティ推進(小さな拠点づくり)	—	3
					鹿屋市1,000人の応援団	—	1,000人
					地域での生活支援・介護予防サービスの実施を推進する協議体の設置数	—	7協議体